

第43回土木史研究発表会

1. 主催 土木学会(担当:土木史委員会 <http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/index.htm>)

2. 期 日 2023(令和5)年6月24日(土)・25日(日)

3. 会 場 北海道大学工学部 フロンティア応用科学研究棟

4. 参加方法

ハイブリッド開催(発表者は原則として対面ですがオンラインも可)

5. 参加費

① 参加費 会員・非会員:3,000円、学生:1,500円

※ 土木史委員会のHPをご参照のうえ、

コンビニ払いは6月11日(日)、クレジット払いは6月18日(日)までに事前の参加申込みをお済ませください(WEB参加の方へは「URL」をお送りします)。

② 『土木史研究講演集 Vol.43』: 4,500円 (参加費は別途お支払いください)

※ 講演集は発表者および司会の方には、1冊無料でお届けいたします。

※ コンビニ払いは6月11日(日)、クレジット払いは6月18日(日)まで事前申込みを受付いたします。

③ シンポジウムのみ参加は無料です。

※ 土木史委員会のHPをご参照のうえ、6月18日(日)までに事前の参加申込みをお済ませください。

【①②③共通】の申込み窓口「本部主催行事の参加申込」 <http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

※懇親会を開催予定です。ただしコロナ感染状況等踏まえ変更の可能性あり

1)日 時 :2023(令和5)年6月24日(土) 18:30~20:15

2)会 場 :北海道大学構内「カフェdeごはん 北大正門」

3)参 加 費 :一般5,000円、学生1,000円(予定)

4)参 加 方 法 :当日の研究発表会会場受付で申し受けます

6. シンポジウム

◇令和5年度土木史研究発表会シンポジウム「廣井勇と北海道の築港」(主催:土木学会、共催:(一社)北海道開発技術センター、(一社)寒地港湾空港技術研究センター)

1)日 時 :2023(令和5)年6月24日(土) 15:30~18:00

2)会 場 :北海道大学工学部 フロンティア応用科学研究棟 レクチャーホール(鈴木草ホール)

3)参 加 費 :無料

4)プログラム:基調講演「廣井勇と北海道の築港」/関口信一郎氏(萩原建設工業)、対談「廣井勇の技術者像」/関口信一郎氏、中井祐氏(東京大学)

7. エクスカーション

◇見学会「廣井勇の功績をたどる」(主催:土木学会、共催:(一社)北海道開発技術センター、(一社)寒地港湾空港技術研究センター)

1)日 時 :2023(令和5)年6月23日(金) 11:45 札幌市内発 18:30 札幌市内で解散予定

2)見学場所:廣井勇の携わった小樽港北防波堤を船上から見学するほか、小樽の土木遺産みどころを巡ります

3)定 員 :30名(予定)

4)参 加 費 :一般3,000円、学生1500円(予定)

5)申込方法:詳細が決まりましたら、土木史委員会のHPにてご案内します

8. プログラム

◆6月24日(土)

発表15分／質疑10分

時間	セミナー室1
8:45	開会挨拶 土木史委員会委員長 知野泰明
9:00	【鉄道および港湾】 司会:小野田滋(鉄道総合技術研究所)
	1 民間人による明治初期の馬車鉄道計画について —東京馬車鉄道会社の設立までを対象として—★ 一谷和希(東京理科大学大学院)・伊藤香織・高柳誠也
	2 明治期の門司築港にみる近代港湾都市形成 —Mulderの設計案と市区設計に着目して—★ 岩本一将(京都工芸繊維大学)
	3 関係技術者に着目した明治末期から大正期の愛媛県三津浜築港計画の推移* 阿部成久(愛媛県建設技術支援センター)
	4 松前・福山止場の復元と港湾機能に関する基礎的研究★ 佐々木恵一(函館工業高等専門学校)・原口征人・石川成昭・今尚之
10:40	
10:50	【まちづくりの歴史】 司会:出村嘉史(岐阜大学)
	5 長崎県における区画区分別制度の導入過程に関する考察★ 原田拓真(長崎大学大学院)・石橋知也・森實昇悟
	6 岡山県における歴史的風致維持向上計画の運用実態と課題★* 関谷直己(修成建設コンサルタント)・樋口輝久
	7 大正期京都北郊における大典記念博覧会の「遊園」構想と鴨川鉄道計画★ 畑喬介(阪急阪神ホールディングス)・谷川陸・山口敬太・川崎雅史
	8 『徳川実紀』にみる江戸時代前中期の江戸府内を主たる対象とした社会基盤整備に関する法制度と行政政策★ —地方政府としての江戸幕府— 西山孝樹(日本大学)・藤田龍之・天野光一
12:30	
13:30	【海外の土木史】 司会:岩本一将(京都工芸繊維大学)
	9 台湾萬隆農場および二峰圳 鳥居徹(東京大学大学院)
	10 ラオス遠隔地高校生就学支援事業の企画意図と継続要因の分析★ 坂井華海(熊本大学大学院)・田中尚人
	11 創成期におけるインド鉄道の発展過程に関する日本との比較考察 高津俊司(日本コンサルタント)
	12 古代スリランカの水利施設に関する基礎的研究 —マハ・エラガム貯水池の樋門構造—★ 鈴木慎也(東京工業高等専門学校)
15:10	
15:30	シンポジウム／講演会 会場:レクチャーホール
	●シンポジウム「廣井勇と北海道の築港」 挨拶:佐藤 馨一氏 (北海道大学名誉教授) 講演:関口 信一郎氏(萩原建設工業株式会社 特別顧問)
	対談「廣井勇の技術者像」 登壇者:関口 信一郎氏(萩原建設工業株式会社 特別顧問) 中井 祐 氏(東京大学大学院工学系研究科 教授)
	司 会:田中 尚人 氏(熊本大学大学院先端科学研究部 准教授)
18:00	

時間	セミナー室2
9:00	【河川・堰堤・橋梁】 司会:佐々木葉(早稲田大学)
	13 広島県福山市における大谷砂留の実態 —東谷の悉皆調査結果から—★ 樋口輝久(岡山大学)
	14 大正期富山県菅白岩堰堤の構造 —砂防工事台帳による復元の試み—* 白井芳樹
	15 土木史的価値についての一考察 武市修一(徳島県土地開発公社)
	16 河内の大橋について 松村博
10:40	
10:50	【戦後土木遺産(企画セッション)】 司会:平野勝也(東北大学)
	17 戦後土木施設の歴史・文化的価値に関する考察 —河川・砂防編の発刊にあたり— 岡田一天(プランニングネットワーク)
	18 戦後土木施設として歴史・文化的価値の高い砂防施設の評価について —近現代建造物緊急重点調査(土木)報告書 河川・砂防編の発刊にあたり—★ 澤陽之(アジア航測)・小川紀一郎・岡本敦
	19 戦後土木施設としての鉄道の歴史・文化的価値における時代区分 小野田滋(鉄道総合技術研究所)
	20 戦後土木施設としての高速道路の海峡横断橋を対象とした歴史・文化的価値に関する考察 橋本政子(道路文化研究所)
12:30	
13:30	【戦後土木遺産(企画セッション)および道路】 司会:天野光一(日本大学)
	21 戦後土木施設としての都市高速道路の歴史・文化的価値に関する調査 小澤広直(早稲田大学)・佐々木葉
	22 首都建設委員会公告第12号「首都高速道路に関する計画」の立案経緯と路線計画の特徴★ 小澤広直(早稲田大学)
	23 明治期の道路整備について —「鉄道優先策」の実像—★ 平井節生(セントラルコンサルタント)・羽藤英二
	24 明治神宮外苑の道路舗装工事におけるワービット工法導入過程に関する一考察 高柳誠也(東京理科大学)
15:10	

★ 土木学会論文集へ投稿予定の発表

* オンライン参加者

時間	セミナー室1	時間	セミナー室2
8:30	<p>【関東大震災100年(企画セッション)および戦時下の土木】 司会: 中井祐(東京大学)</p> <p>25 東京築港を導いた直木倫太郎と隅田川濬筋工事 手島道人(首都東京みなと創り研究会)・寺中啓一郎</p> <p>26 関東大震災後の東京の臨海部整備と都市計画の対応に関する研究★ 大森文彦(東京工業大学)</p> <p>27 帝都復興小公園に関するレビュー 中川恵(東京大学大学院)</p> <p>28 1976年イタリア・フリウリ地震の被災地における被害建物調査記録の個票の特徴と活用可能性について 益子智之(東京都立大学)・益昌明伸</p> <p>29 戦時期日本における防空土木施設の整備と建物疎開との関係★ 齋藤駿介(京都大学大学院)</p>	8:30	<p>【地域における土木遺産の活用(企画セッション)】 司会: 二井昭佳(国士舘大学)</p> <p>40 北海道空知地域における炭鉱遺産の保存活用 酒井裕司(イメージランドスケーププランニング)</p> <p>41 プラフ積擁壁の歴史・文化的価値に関する一考察★ 柳沼雄波(日本大学大学院)・山崎詩歩・阿部貴弘</p> <p>42 土木遺産の心理的価値に関する試論* 羽野暁(九州大学)</p> <p>43 流域における歴史的土木施設の面的保存がもたらす災害教訓の伝承事例 岩永正幸(長崎県)・廣瀬健太</p> <p>44 戦後の旧広島陸軍被服支廠における転用の変遷及び周辺地域との関連に関する研究 酒井恵(ニュージェック)・岡田昌彰</p>
10:35	<p>【北海道の土木史(企画セッション)】 司会: 佐々木恵一(函館高専)</p> <p>30 糠平ダムの歴史と進化 田畑宏司(電源開発)・廣岡 光太郎</p> <p>31 北海道におけるトンネルの歴史的価値の評価に関する一考察 岡田正之(エーディック)・原口征人・岩田圭佑</p> <p>32 木コンクリート橋の歴史的価値の評価手法に関する考察 岩田圭佑(土木研究所寒地土木研究所)・榎本碧・原口征人</p> <p>33 オーラルヒストリー手法を活用した戦後土木遺産の評価に関する研究 一定山溪国道を例として一★ 原口征人(北海道開発技術センター)・今尚之・岩田圭佑・榎本碧</p> <p>34 土木の歴史などの情報の発信ツールとしてのホームページの活用について★ 小町谷信彦(草野作工)・原口征人・今尚之</p>	10:35	<p>【歴史的建造物の保全・維持管理(企画セッション)】 司会: 岡田昌彰(近畿大学)</p> <p>45 旧豊田貯水池の歴史的変遷及び現状について 崔静妍(文化財保存計画協会)・益田里佳・知野泰明・村上一郎</p> <p>46 龍ヶ池揚水機場の井戸構造★ 林倫子(関西大学)・尾崎栄央・安室喜弘・窪田諭・加藤直子</p> <p>47 変状観測による熊本城の被災石垣の安定性評価に関する研究 杉本知史(長崎大学大学院)・有津享佑・藤谷久</p> <p>48 鹿児島県出水市に残る薩摩藩政期の石造干拓施設群★ 岩崎新輔(出水市)・本田泰寛</p> <p>49 矢作川・明治用水頭首工漏水事故に伴い確認された旧頭首工遺構の残存状況と河道特性★ 吉川慎平(自由学園)・鷺見哲也</p>
10:45	<p>【歴史からみる流域治水(企画セッション)】 司会: 林倫子(関西大学)</p> <p>35 湊田棚田の成立とその変遷★ 川添純希(清水建設)・真田純子・中川嵩章</p> <p>36 長野県内の霞堤の成り立ちについて 一急流河川における事例一 山浦直人(千代田コンサルタント)</p> <p>37 球磨川における水運・陸運の発達に伴う集落形成と水害被害の変化★* 大坂健太(京都大学)・落合知帆</p> <p>38 令和2年7月豪雨球磨川浸水域における宅地の変遷★ 寺村淳(第一工科大学)・末留壮真</p> <p>39 菊池市における地域住民の水辺に対する意識に関する研究★ 田中尚人(熊本大学)・光永和可</p>	10:45	<p>【土木史一般】 司会: 知野泰明(日本大学)</p> <p>50 戦時期の東京帝国大学土木工学科における教育・研究と技術者論★ 高林剛大(国土交通省近畿地方整備局)・中井祐</p> <p>51 島津樋門跡の履歴推定における3次元モデルの活用 本田泰寛(第一工科大学)・寺村淳・本田健太郎</p> <p>52 らせん鉄筋は何処へ行った?* 福島啓一</p> <p>53 石垣秘伝書作図の説明と現代数学による近似★ 福田光治(KGIE)</p> <p>54 首里城御庭の幾何学試論 家田仁(政策研究大学院大学)</p>
12:50		12:50	
13:50		13:50	
15:55		15:55	
16:00	若手優秀講演賞表彰 土木史委員会発表小委員会		
16:10	総括および閉会挨拶 土木史委員会副委員長 田中尚人		
16:20			

★ 土木学会論文集へ投稿予定の発表
* オンライン参加者